

農林 畜産業

JETRO



バングラデシュ BOP実態調査レポート

- 調査実施日: 2012年12月
- 調査場所: ダッカおよびラジシャヒ管区ボグラ県
(アンケートは農村部のボグラ郡ラジャプール村で実施、回答者数50名)

農業

バングラデシュは人口密度が高く大部分が農村部の国である。人口増加に伴い耕作地より住宅地が増えてきている。バングラデシュ統計局のデータによる農業の概略は次のとおりである。

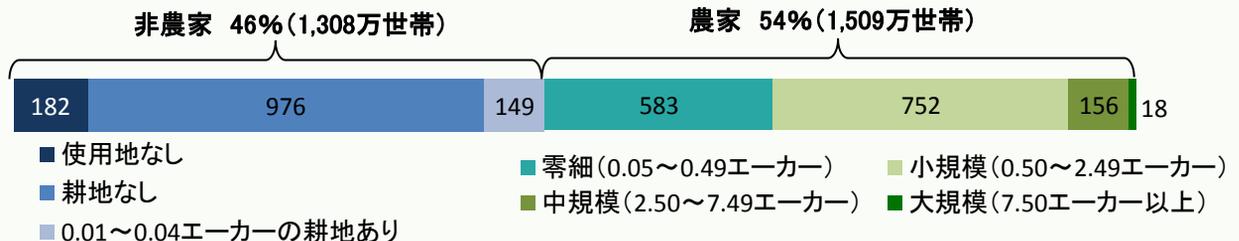
農家世帯数	1,509万世帯	一毛作地	285.1万ha	作付率	176%
総面積	1,484.5万ha	二毛作地	398.4万ha	純生産量	2,456.9万トン
森林	259.9万ha	三毛作地	97.4万ha	農業のGDP割合	23.5%
耕作可能地	844万ha	純作付地(合計)	780.9万ha	農作物のGDP割合	13.4%

出所: バングラデシュ統計局

農家の割合

農家(54%)の方が非農家(46%)より多いが、人口増加に伴い農家数は減少している。

非農家・農家の割合(2005年 単位: 万世帯)



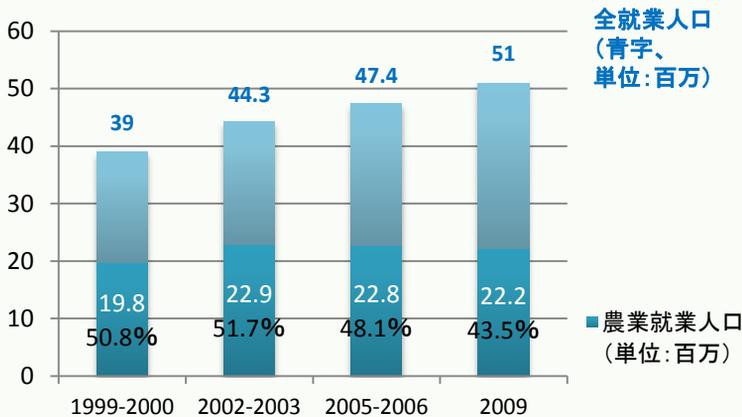
出所: バングラデシュ農業統計2010

JETRO



■農業・非農業部門の労働人口

農業・非農業部門の就業人口



出所：バングラデシュ統計局、雇用モニタリング調査2009

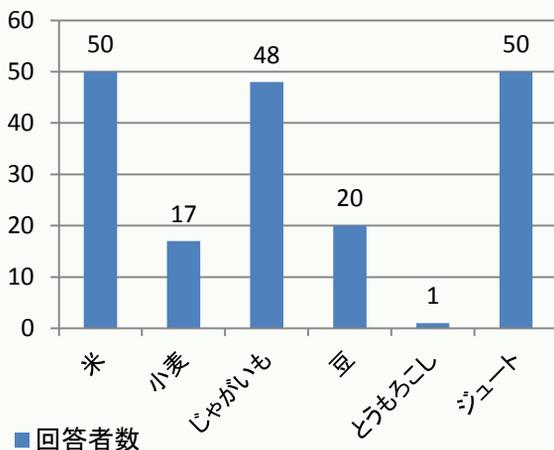
就業人口全体に占める農業部門の割合は、1999-2000年の50.8%から低下し続けている。



■主要作物



現地調査では、下図の作物が主要作物として挙げられている。米、ジュート、じゃがいもの生産者数が多い。(単位：人)





■食糧自給の状況

バングラデシュは2013年までの食料の自給自足を目指しているものの、未だ大量の食料を輸入している。ここ数年の輸入統計によると、生産が徐々に増え、食料輸入は減少してきている。

現地調査から、農家の大部分は自分で育てた作物は(自給できるため)購入しないことが分かっている。

主要食物の生産および輸入 2005年～2010年(単位:千トン)						
年度	米		小麦		豆	
	生産	輸入	生産	輸入	生産	輸入
2005-06	29,244.28	971	810	2,148	279	307
2006-07	30,112.90	634	812	2,415	258	322
2007-08	31,890.93	1,656	930	1,585	204	293
2008-09	34,521.04	680	936	1,611	198	72
2009-10	35,246.36		993		221	

出所:バングラデシュ統計局、貿易統計

灌漑方法

灌漑方法は、主に次の種類に分けられる。

灌漑方法(単位:千ヘクタール)							
年度	低揚程ポンプ	深井戸	浅井戸	井戸合計	用水路	従来方式	合計
2000-01	756.75	693.62	2,437.39	3,131.01	177.25	354.09	4,419.10
2001-02	768.08	677.43	2,632.44	3,309.87	162.68	355.71	4,596.34
2002-03	783.34	697.65	2,764.78	3,462.43	145.68	334.18	4,725.63
2003-04	785.08	719.11	2,994.61	3,713.72	-	435.84	4,934.64
2004-05	802.07	716.68	3,027.40	3,744.08	0	488.45	5,034.60

出所:バングラデシュ統計局

※従来方式は主につるべ

アンケート



調査結果

現地調査を行った場所では、50人中49人の回答者が(水を汲み上げるのに)ポンプを利用し、31人がポンプと用水路の両方を、1人が用水路のみ利用していると答えており、灌漑では、ポンプと用水路がよく用いられている。農家は、安価に利用できる灌漑施設の必要性を訴えている。





農業機械等の利用状況

■種類

下表は、農作業に使用されている農機の種類と数を示している。よく使用される機械は、耕運機、除草機、噴霧器、脱穀機である。調査から、すべての回答者が牛および耕運機を使用していることが分かった。

農業機械	台数	農業機械	台数
耕運機	約35万	刈り取り機	約40
トラクター	2万5,000以上	オープンドラム脱穀機	15万
高速耕運機	30	クローズドラム脱穀機	約3万5,000
除草機	20万以上	選別機	約500
種子兼肥料散布機	約60	乾燥機	約500*
噴霧器	125万	手動トウモロコシ脱粒機	1万2,000
複式収穫機(コンバイン)	約30	電動トウモロコシ脱粒機	2,000

出所: バングラデシュ農業研究評議会(ダッカ)

■機械化の状況

耕運機による土地耕作は、畜力の費用の方が高いため、経済的に有利である。さらに、機械化により作付率が増し、また新しい作物の導入が助けられる。バングラデシュには機械・スペアパーツ製造、貿易、農業機械レンタルなどの業者が存在し、農業機械化が推進される機会が多くある。

農家は現代技術の活用に関心を示し、日ごとに機械の使用は増加している。政府は機械購入のための財政支援をしているが、大きな規模では行われていない。



調査から、農家は利用できる範囲で機械を使用しており、多くは他所から賃借することが分かった。また同時に農家は、安価で利用できるより良い農業機械の出現を期待している。



■所有形態

通常、高価な機械はレンタルで、低価格の手頃な機器は個々に所有している。一般的に低価格の手動機器(各1,200~2,500タカ)は、個々の農家が所有しているが、動力機器(15,000~25,000タカ)は普通レンタルされている。調査と面談でも同様の結果となった。50人中19人の回答者が重機を他所から借りると答え、その他の者は重機を使用しないと答えた。全回答者が、農業機械は高すぎて買えないと答えている。

■価格

農業機械の市場概要は以下の表のとおり。

	2005年		2006年		2007年		市場規模	輸入市場規模
	数量	百万タカ	数量	百万タカ	数量	百万タカ	百万タカ	百万タカ
耕運機	61,200	3,641.4	61,500	3,997.5	62,000	4,557	-	4,557
トラクター	1,150	517.5	1,600	800	2,840	1,420	-	1,420
ポンプ (浅井戸)	262,500	315	403,389	595	420,000	840	840	-
エンジン(浅井戸兼脱穀機用)	335,000	3015	450,000	4725	510,000	7,650	-	7,650
脱穀機								
オープン式	24,650	103.53	25,000	116.25	20,000	104	104	-
クローズ式	20,000	340	25,000	475	30,000	600	600	-
トウモロコシ脱粒機								
スパイク式	282	2.12	520	4.16	677	5.42	5.42	-
スパイラル式	335	4.69	770	12.32	1,260	22.68	22.68	-
噴霧器								
国産	140,000	42			144,600	65.86	65.86	-
輸入	7,272	16			9,600	24.96	-	24.96
スペアパーツ								
国産		4,500		7,800		14,000	14,000	-
輸入		4,500		3,200		6,000		6,000
合計		16,939.2 4		21,725.2		35,289.9	15,637.96	19652

出所:バングラデシュ農業研究評議会(ダッカ)



販路と価格

収穫後の作物は様々な仲介業者を通して販売されている。

現地調査において、作物の販路に関して質問した。作物は小売業者と卸売業者の両方に売られている。特に卸売業者への販売の場合、農家は適正な料金を得られず、販売価格では生産費用が回収できないことがほとんどであった。

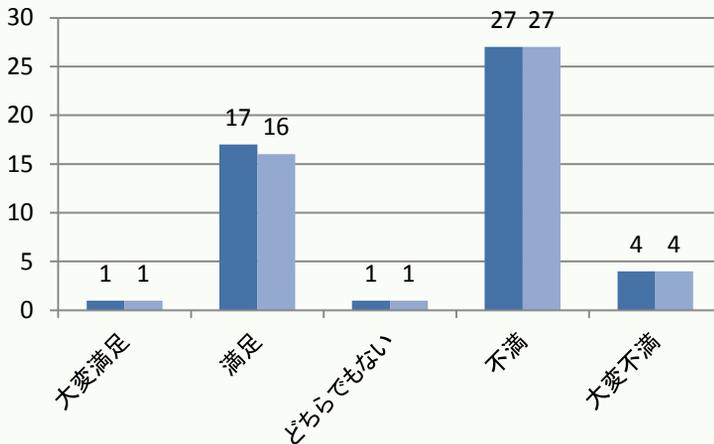
耕作規模が小さい場合、農家は作物を小売業者に販売し、規模が大きい場合は卸売業者に販売する。時には卸売業者がトラックで畑を訪れ、畑中の作物を買い取り、ダッカなどの大都市で販売するため持ち帰ることもある。野菜の場合、農家が洗浄し、売りに出す。

各段階で農作物の価格が上がり、最終消費者は高い価格で買われ、農家も利益を得ていない。



- 農業従事に関する満足度
- 作物の販売価格に関する満足度

(単位:人)



現地調査で、価格等に対する満足度について質問を行った。約62%の回答者が、問題は複数あるものの、農業従事に対して満足していた。また同数の回答者が、作物の販売価格に対して満足していると回答した。農家は主に低い販売価格と高い生産費について感心を持っている。

面談では、農業情報サービス(AIS)情報官は、農家は作物の適正な料金を受け取っておらず、実際には仲介人やブローカーが利益を得ていると指摘している。



■主な問題点

現地調査結果および専門家との面談から、以下の問題点が浮かび上がった。

1. 栽培作物の適正な価格保証
2. 灌漑施設の不足
3. 地下水不足
4. 高価な農薬
5. 電気供給不足
6. 労働力の確保難・高賃金
7. 種子が高価、高品質の種子が不足
8. 農業機械の利用の難しさ・価格の高さ
9. 肥料の利用の難しさ・価格の高さ



農家が改善を望んでいるのは以下である。

1. 価値連鎖（サプライチェーン）開発が必要。販売価格が定まらず農業への意欲が低下を招く。
2. 作物の適正販売価格の設定
3. 適切な訓練および提案
4. 機械化のための支援
5. 生産費の低減
6. 種子、肥料、農薬、灌漑施設等、作物栽培のための十分な支援





畜産業

畜産業は利益が大きい部門になり得るが、次のような障壁がある。

- ・労働力、牛飼いの確保と賃金
- ・放牧地不足
- ・飼料不足(草等)と高価格
- ・機械化により牛への関心が低下
- ・訓練、知識の不足
- ・薬や治療施設など、専門家による支援の不足
- ・家畜が様々な病気にかかるなど飼育地の環境への適合が難しい

畜産における統計は以下のとおり。

項目	1983-84年	1996年	2008年
農村部世帯数	1,382万	1,783万	2,535万
牛 総数	2,206万	2,229万	2,585万
世帯当たり数	1.6	1.25	1.02
ヒツジ・ヤギ 総数	1,423万	1,461万	1,731万
世帯当たり数	1.03	0.82	0.68
家禽 総数	7,371万	1億2,667万	1億3,512万
世帯当たり数	5.33	7.1	5.33

出所:バングラデシュポ
ケットブック2010

牛、水牛			
	合計	出荷用	生計用
世帯数	1,019万2,504	1万5,475	1,018万3,182
家畜・家禽数	2,513万5,338	19万4,154	2,494万1,184
平均数	2	13	2
ヤギ、ヒツジ			
	合計	出荷用	生計用
世帯数	662万6,684	2万8891	661万1,004
家畜・家禽数	1,745万9,061	88万1507	1,657万7,554
平均数	3	31	3
鶏、家鴨			
	合計	出荷用	生計用
世帯数	1,798万9,084	3万1612	1,797万3,534
家畜・家禽数	1億8,839万8,299	2,180万9,649	1億6,658万8,650
平均規模	3	690	9
ハト			
	合計	出荷用	生計用
世帯数	136万597	1,200	135万9,617
家畜・家禽数	1,087万9,923	11万5,410	1,076万4,513
平均数	8	96	8

出所:農業年報2010
(2005年データ)



林業

林業では、森林から果物、薬品、材木、薪、ニツパヤシ、竹、蜂蜜、魚などの産物を得ている。近年、丘陵地帯で政府の事業が進行している。政府の支援により、丘陵地帯の人々は各種の薬草を栽培し、企業がこれら生産物を集めている。

森林が減少している主な理由は以下の通りである。

- **世帯数の増加:** 人口増加に伴い、森林との境界地にある世帯数が増加している。収入や生活のため、森林が破壊されている。森林保護のために森林外で経済活動を行う必要があり、同時に森林再生を行うことも重要である。
- **工業化:** 森林破壊の主な原因は工業化である。工場建設のため、木が切り倒され、森林が破壊される。産業廃棄物が森林破壊の大きな原因となることもある。

■森林農業(agroforestry)の主な問題点

丘陵地の森林農業は次のような問題を抱えている。

1. 灌漑
2. 技術および機械の不足
3. 集水技術(灌漑)不足
4. 金融機関不足
5. 収益を得られる施設の不足(より良い雇用・収入)
6. 教育、保健、市場、飲料水、その他の公共施設の不足
7. 生産物の販売・流通
8. 労働力の確保難・高賃金
9. 変革に対する社会的動機づけ(変化への抵抗)
10. 伐採
11. 国民感情の不足
12. 教育の不足

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。